



今年度3回目ののびのび通信は、前回に続き、「子どもの気になる行動や困った行動の『わけ』と関わり方」についてお伝えします。

甲賀市発達支援課 R3.9（隔月発行）

今回の気になる行動とその『わけ』は…

お母さんの声は聞こえているけれど、テレビの前から動けない



ちょっと立ち止まり…

どうして保育園の準備をしないだろう…  
「困った行動」の『わけ』を探っていく



新しい関わり方の発見



『わけ』(特徴)

・相手の声は聞こえていても、何を言われているのか相手が自分にどうしてほしいのかが、パツと分からない。

例えば…

ちゃんとしてね

そんなことしてもいいと思ってるの!?

ちゃんとして？  
どうするの？

いいの？悪いの？  
なんか、コワイ…。



前回は、「テレビに夢中になっている」ことの「わけ」として、**ひとつのことに集中し過ぎることや、見えるもののほうに注意が向きやすい**という特徴がありそうだとお伝えしました。今回は、「**お母さんの声は聞こえているけれど、テレビの前から動けない（するべきことをしない）**」ことの「わけ」と関わり方を考えます。

このようなお子さんの場合、あいまいな言い方では相手が伝えたいことがわかりにくいかもしれません。また、言葉以外のやりとり（視線・指さし・ジェスチャー・表情など）から相手が伝えたいことがわかりにくいということがあるかもしれません。その「わけ」として、**相手の声は聞こえていても、何を言われているのか、相手が自分にどうしてほしいのかがパツと頭に浮かびにくい**という特徴が考えられます。

このような場合の関わり方としては、お母さんの「保育園の準備をしてね」という言葉だけでは何をしたらよいかのわかりにくいでしょ（何かに集中している場合は特に）。そのため、**言葉だけで「準備しようね」と言うのではなく、保育園で使うカバンや帽子などを見せながら「準備しようね」という関わり方のほうが、保育園の準備という行動につながると**思います。



保育園の準備をしようね。

「言葉」  
+  
「見てわかる物  
(具体的な物)」



次回も、この続きを考えます。  
今回の内容を発達支援課心理士が説明した6分程度の動画もありますので、左記QRコードよりご覧ください。



## つみきの広場

このコーナーでは、児童発達支援センターつみきで行っている遊びや活動の中から、家庭でも楽しめるものを紹介します。



おうちにある日用品も、子どもにとっては楽しい遊びになります。今回は『せんたくばさみ』を使った遊びを紹介します。

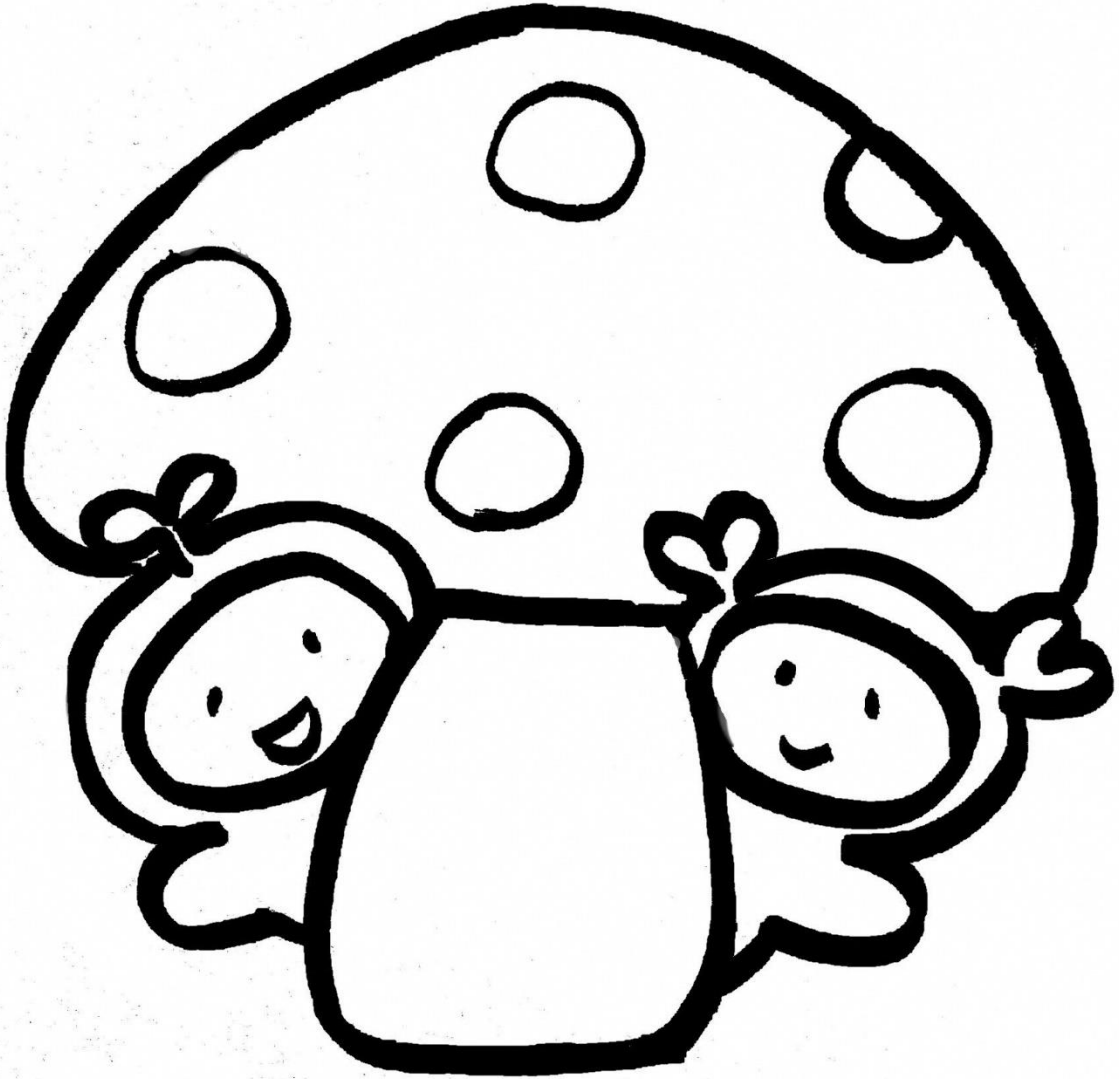
“せんたくばさみ”をどんどんつなげてヘビを作ったり、台紙（左写真は恐竜、タコ）にはさんでいったりすることも楽しいですね。児童発達支援センターつみきでも、いろいろな形の台紙を用意して“せんたくばさみ”を使った遊びをしています。楽しく遊びながら、「はさむ・つまむ」という指の力を使う練習にもなります。するときには、指をはさんでけがをしないように気を付けてあげてくださいね。難しそうときには、「お手伝いするね」と手を添えてあげてもいいですね。

## ～新型コロナウイルス感染予防について～

感染力が強い変異株にも基本的な感染予防策が有効です。「マスクの着用」や「手洗い」、3密（密接・密集・密閉）など、改めて心がけましょう。

のびるん ♡ はあとん

# ～ぬりえ～



すきないろを  
ぬってね

